

三重縣公報(日刊) 明治二十五年三月二十六日 第三種郵便物認可

三重縣公報

第九百九十六號

昭和五年九月十九日

金 曜 日

告 示

●三重縣告示第八百四號
公有水面埋立ノ件左ノ通免許シタリ

昭和五年九月十九日

三重縣知事 市 村 慶 三

記

- 一、願人ノ住所氏名職業 北牟婁郡須賀利村 須賀利村漁業組合
- 一、埋立ノ場所及面積 北牟婁郡須賀利村字浦道外一字地先 海面十九坪八合七勺
- 一、埋立ノ目的 宅地
- 一、工事着手及竣功期限 着手 免許ノ日ヨリ六十日間 竣功 昭和六年三月三十一日
- 一、埋立免許ノ年月日 昭和五年九月十二日

●三重縣告示第八百五號

鯤揚線網漁業左ノ通許可セリ

昭和五年九月十九日

三重縣知事 市 村 慶 三

許可番	許可	漁業者ノ	漁業ノ	場所	漁獲物	漁業時間	許可期間	條件
號	年月日	住所氏名			ノ種類			

一、二、三	昭和五年九月十六日	三重郡富洲原町大字富田一色樋口金次郎	三重郡富洲原町ノ北端ト多度山頂上トヲ見通シタル線ヲ見通シタル線ト朝熊山頂上トヲ見通シタル線ヲ海面ニ延長シタル線トノ間ニ於ケル海面	自九月十六日至十二月三十一日	鰻 鯉	自昭和五年九月十六日至同年十月三十一日	免許ヲ得タル漁業ヲ妨クヘカラス
-------	-----------	--------------------	--	----------------	-----	---------------------	-----------------

一、二、四	同	河藝郡豐津村北出 榎吉	同	同	同	同	同
-------	---	-------------	---	---	---	---	---

●三重縣告示第八百六號

昭和五年九月十七日附ヲ以テ左記森林組合ノ設立ヲ許可セリ

昭和五年九月十九日 三重縣知事 市村 慶 三

記

- 一、名 稱 月出桑原土工保護森林組合
- 二、事務所所在地 飯南郡波瀨村大字月出三一二番地
- 三、目 的 森林產物ノ搬出並森林危害ノ防止ニ關スル施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 四、地 區 飯南郡波瀨村大字月出字鈴々又外十七字及字アカユワノ一部
- 五、面 積 臺帳面積三百六十八町四反九畝十五步 見込面積六百町步
- 六、組合員 數 實體的組合員數三十一人 表決權的組合員數三十四人

廳中事項

●敘任辭令

昭和五年九月十七日

永田 幸義

三重縣道路技手ニ任ス
 判任官三等ヲ以テ待遇セラル
 六級俸給與
 內務部土木課勤務ヲ命ス

廣 告

●工事入札公告

一、桑名郡西桑名町揖斐長良川橋梁架設事務所建築工
事外三廉 竣功期限五十日間

右請負望ノ者ハ當廳土木課又ハ桑名工區事務所ニ就キ
規程設計仕様書圖面並實地熟覽ノ上來ル九月二十五日
午後十時迄ニ當廳へ到達スル様入札書ヲ郵送スヘシ翌
二十六日午前十時開札ス

昭和五年九月

三 重 縣

通牒照會

●農第四、四五八號

昭和五年九月十九日

關係市町村長殿

內 務 部 長

自作農地創定資金年賦金償還ノ件

本月償還可相成自作農地創定資金貴市町村償還金別冊ノ通ニ有之候條本月末日迄ニ必ス縣金庫へ拂込相成度尙拂込ノ上ハ大正十五年十月四日付農務第二、七二八號通牒ニ依ル元利償還成績ヲ來ル十月十日迄ニ當廳へ到着候様御報告相成度此段及通牒候也

(別冊ハ別途送付ス)

三重県公報

第

996

號

第

號

9頁
16頁
欠落

●水第八四九號

昭和五年九月十九日

內 務 部 長

支 廳 長 殿

沿海各市町村長殿

名賀郡名張町長殿

漁業組合地方講習會ノ件

昭和五年九月十六日付水第八四九號ヲ以テ及照會候漁業組合地方講習會開催日時ハ都合ニヨリ左記ノ通變更
相成候條御了知相成度此段及通知候也

記

十月十二日ヨリ十月十四日マデ 三日間

●林第八一八號

昭和五年九月十九日

支廳長殿

各市町村長殿(支廳管内ヲ除ク)

林業労働者調ノ件

標記ノ件ニ關シ調査方其ノ筋ヨリ照會有之候ニ就テハ現在^{貴支廳管内ニ於ケル}林業労働者ニ關シ左記事項調査ノ上來ル十月末日迄ニ報告相成度此段及照會候也

追テ國有林事業ニ從事スル労働者ニ關シテハ調査ヲ要セス候條御了知相成度申添候
記

- 一、林業労働者總數(第一様式ニ依リ調査記入ノコト)
- 二、林業労働賃金(第二様式ニ依リ調査記入ノコト)
- 三、林業事業別労働者數(第三様式ニ依リ調査記入ノコト)
- 四、林業失業者調(第四様式ニ依リ調査記入ノコト)
- 五、林業労働者救済施設但健康保險法ニヨルモノハ之ヲ除外ス
- 六、林業労働者共済組合又ハ労働組合其ノ他ノ労働團體アラハ其ノ名稱目的及人數

第一様式

一、林業労働者總數

男女別	年齡別						計
	老	年	成	年	少	幼	
男	人	人	人	人	人	人	人
男女別	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業
男	人	人	人	人	人	人	人
	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業
	人	人	人	人	人	人	人
	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業	兼業
	人	人	人	人	人	人	人

備考 本表ノ老年トハ六十歳以上、成年トハ滿十六歳以上滿六十歳未滿、少年トハ滿十四歳以上十六歳未滿、幼年トハ十四歳未滿トス

第二様式

二、林業労働者賃銀

事業別	男					女							
	最	高	普	通	最	最	低	最	高	普	通	最	低
造 林	圓			圓		圓			圓		圓		圓
伐木造材													
搬出運材													
製 炭													
其ノ他													

備考

一、本調査ハ老年・成年・少年・幼年ニ分チ各別表トスルコト
 二、事業別ニ於ケル造林中ニハ地拵・植栽・手入・間伐等造林事業一切ヲ伐木造林中ニハ木挽・製材職工等ヲ含ミ搬出運材ニハ木馬夫・筏夫其ノ他出材運搬者一切ヲ製炭ニハ根切・小運搬・焼夫・運搬等一切ヲ謂フ

第三様式

三、林業事業別労働者數

事業別	人	數	備	考
造 林				
伐 木 造 材				
搬 出 運 材				
製 炭				
其ノ他				

備考

一、同一人ニシテ數種ノ事業ニ従事スル場合ハ従事スル事業ノ何レニモ個人別頭數ヲ計上スルコト
 二、第二様式備考ニニ做フ

第四様式

四、林業失業者調

事業別	計		備	考
	男	女		
造 林				
伐木造材				

搬出運材				
製炭				
其他				

備考

- 一、季節的專業例へハ造林ニ於ケル地拵・植栽・間伐ノ如キハ例年其ノ季節ニ從業シツツアリシモノニシテ本年一月以降ニ於ケル當該季節ニ從業シ得ス且ツ失業ノ状態ニアルモノヲ調査ノコト
- 二、第二様式備考ニニ做フ

●教第三、一四三號

昭和五年九月十九日

學務部長

支廳長殿

各市町村長殿

各學校校長殿

各青年訓練所主事殿

教育勅語發滿四十年記念ニ關スル件

本年十月三十日ハ教育ニ關スル勅語發滿四十年ニ相當スルニ付テハ之ヲ記念シ一層 聖旨ノ徹底ヲ圖リ度右ニ關シテハ既ニ種々御計畫中ノコトトハ被存候へ共左記各項ハ全國一齊ニ舉行スル様致度趣ヲ以テ其ノ筋ヨリ申越ノ次第モ有之候條右實施方可然御配慮相成度依命此段及通牒候也

記

其ノ一 記念式ニ關スル件

- 一、支廳ニ於テハ當日貴官主催トナリ所在地官民合同ノ記念式ヲ舉行スルコト
 - 二、學校ニ於テハ當日休業ノ上記念式ヲ舉行シ教育勅語奉讀並右ニ關スル訓話ヲ爲スコト(男女青年團體、青年訓練所等ハ之ト合併ノ上舉行スル等適當ナル方法ヲ講スルコト)
 - 三、市町村ニ於テハ市町村長主催ノ下ニ第一號ニ準シテ記念式ヲ行ヒ又ハ當該市町村ノ學校ニ於ケル記念式ニ有志者ヲ參列セシムル等適當ナル方法ヲ講スルコト
- 其ノ二 記念講演會ニ關スル件
- 一、市町村又ハ學校等主催ノ下ニ適當ノ場所ニ於テ記念講演會ヲ可成開催スルコト

●教第二、〇五五號

昭和五年九月十九日

公立青年訓練所主事殿

學 務 部 長

(例規) 青年訓練所生徒入所出席歩合報告ノ件

青年訓練所生徒入所出席歩合等ニ關シテハ爾今別表ニ依リ毎年五月末日及十月末日限り御報告相成度
 尙入所出席歩合等ノ算出方法ハ別記ノ通り改定相成候條爾今之ニ依據セララル様致度申添候
 (別表)

青年訓練所生徒入所出席歩合調査表

昭和 年 月末日調					昭和 年 月末日調				
入所歩合				平均入所歩合	出席歩合				平均出席歩合
九〇%以上	八〇%以上	七〇%以上	六〇%以上		九〇%以上	八〇%以上	七〇%以上	六〇%以上	

入所資格該當者數
 在所生徒數

實施シタル訓練ノ總時數
 各人ノ出席シタル總時數
 ノ累計

入所歩合別訓練

出席歩合別訓練

所數	
五〇%以上	
五〇%未満	

所數	
五〇%以上	
五〇%未満	

備考

- 一、入所歩合ハ四月末日及九月末日現在ニ依ルコト
- 二、出席歩合ハ前年度三月末日及九月末日現在ニ依ルコト

記

青年訓練所入所歩合等算出方法

一、入所歩合算出方法

(一) 毎年四月末日及九月末日現在ノ入所資格該當者數ヲ以テ四月末日及九月末日現在ニ於テ在所スル生徒數ヲ除シテ得タル數ヲ百倍シ小數第三位ヲ四捨五入シテパーセントヲ以テ年二回四月末日現在入所歩合並九月末日現在入所歩合トシテ表示スルコト

但シ現ニ青年訓練所ニ在所シ出席ノ督勵ヲ受ケタルニモ拘ラス一ケ年以上皆缺席ヲナシ且將來出席ノ見込ナキモノト認メラルヘキ事情アルモノハ訓練名簿ヨリ之ヲ除籍スルコト

(二) 入所資格該當者數トハ入所年齢該當者ノ四月末日及九月末日現在總數ヨリ左記各項該當者ヲ控除シタルモノナルコト

イ、現役將校ヲ配屬シテ教練ヲ行ヘル學校ノ卒業者・在學者・青年訓練所規程第八條ノ認定ニヨル學校在學者

ロ、病弱者・不具廢疾者ニシテ訓練ニ堪ヘサルモノ

(三) 入所年齢該當者又ハ資格該當者數ハ其ノ實數ヲ要求スルモノナルヲ以テ帳簿調査ニ加ヘテ各種團體其

ノ他ノ應援ニ依リ實地戸別調査ヲ遂ケテ得タルモノナルコト

附記 イ、寄留等ノ手續如何ヲ問ハス一ケ年以上當該市町村ニ在任セサルモノハ之ヲ除クコト

ロ、寄留等ノ手續如何ヲ問ハス當該市町村ニ現住スル者ハ之ヲ加フルコト

二、出席歩合算出方法

其ノ青年訓練所ニテ一箇月内ニ實施シタル訓練ノ總時數ニ在籍生徒數ヲ乘シタル時數ヲ以テ各人ノ出席シタル總時數ノ累計ヲ除シテ得タル數ヲ百倍シ小數第三位ヲ四捨五入シテパーセントヲ以テ各月別ニ算出スルコト

前項ノ算出方法ニ準シ九月末日及三月末日ニ於テ各期間中ノ總出席歩合ヲ算出スルコト

備考

一、出席歩合算出法前項ノ如ク定メラレタルヲ以テ訓練時數ノ減免ヲ受ケタルト否トニ拘ラス其ノ青年訓練所ニテ實施セララルル總テノ訓練ニ出席セシムル様之ヲ獎勵スルノ必要アリ

但シ一訓練項目ノ全部ヲ免除セラレタルモノ(例、實業補習學校後期卒業者ニ對スル普通學科、職業科ノ訓練ヲ全部免除シタル場合)ニツキテハ必スシモ此ノ限リニ非ス從ツテ或ル月ノ或青年訓練所ノ訓練實施總時數ヲ算出スル場合ニハ此等免除項目ニ該當スル訓練實施時數ニ免除セラレタル生徒ノ數ヲ乘シタル總時數(例、實業補習學校後期卒業者三人アル場合ニハ普通學科及職業科ニ對スル訓練實施時數ノ合計ヲ三倍シタル時數)ヲ其ノ月内ニ實施シタル訓練ノ總時數ニ生徒數ヲ乘シタル時數ヨリ控除スルコト而シテ此等ノ者ノ當該項目ニツキテ出席シタル時數ハ全生徒ノ出席總時數ヨリ控除スルコト

二、修了證ヲ交付スヘキヤ否ヤハ法定ノ標準訓練時數ヨリ各人ノ減免時數並免除項目ノ時數ヲ控除シタル時數ヲ標準トシテ判定スルコト

三、修了受證者歩合算出方法

修了受證者歩合ハ第四年次生徒數ヲ以テ修了證ヲ受ケタルモノノ數ヲ除シタルモノヲ(一)ノ歩合トシ第四年次ニ相當スル入所資格該當者數ヲ以テ修了證ヲ受ケタルモノノ數ヲ除シタルモノヲ(二)ノ歩合トシ何レモ小數第三位ヲ四捨五入シテパーセントヲ以テ算出スルコト

昭和五年九月十九日印刷發行

三重縣公報(第三種郵便物認可)

三重縣廳

三重縣津市下田千六百十九番ノ二
印刷所
振替口座番號 名古屋一四五〇六番